

第2期中期事業計画（3か年,2024～2026）



電気の安全と安心を守り続けます

一般財団法人 **北陸電気保安協会**

Hokuriku Electrical Safety Inspection Association

I. 協会を取り巻く事業環境の変化

<事業環境変化の総括>

- 現役世代労働者の減少により**電気主任技術者の確保はより困難**となる一方で、再生可能エネルギーの普及やデータセンター等の新增設により、**電気設備の保安需要は増加**していくことが予想される
- **スマート保安**や**AI・次世代技術**の導入により**業務効率化**を推進し、需要増に対応することが求められる
- 令和6年能登半島地震の発生を受け、企業や自治体の**災害対策強化の要望**が高まっている
- 高水準なCO2排出削減目標が設定される等、**カーボンニュートラルの重要性が増大**している
- 複数の企業での不祥事発生を受け、社会全体で**コンプライアンス強化の重要性**が高まっている

<電気保安業界固有の環境変化>

電気保安人財の不足

- ・ 少子高齢化による現役世代労働者の急速な減少による**電気主任技術者の確保困難化**

電気設備の保安需要の増加

- ・ 人口減少、節電・省エネによる減少傾向の一方で、今後は**太陽光発電設備**や**データセンター**等の新增設による増加が予測される

技術革新・規制の変更

- ・ **AI・次世代通信技術**の進化・普及による業務効率化・自動化
- ・ **スマート保安**の普及拡大による安全性・効率性の向上、**点検頻度の延伸**

<その他の環境変化>

自然災害の頻発化・激甚化

- ・ **防災意識**の高まり
- ・ **災害対策**の強化

カーボンニュートラルの重要性の増大

- ・ 高水準な**CO2排出量削減目標**の設定
- ・ 再生可能エネルギーの一層の普及

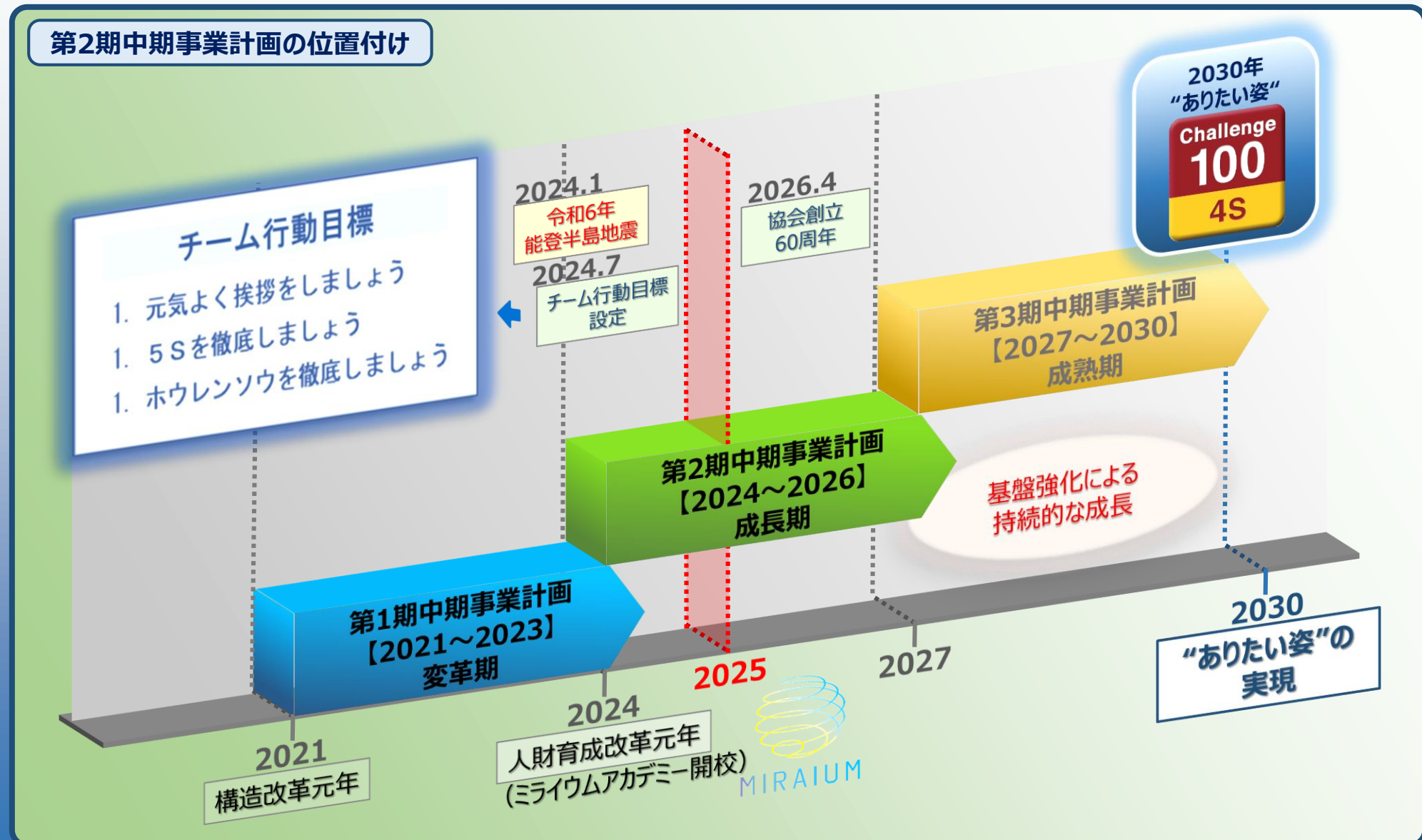
企業に対する社会的要請の高まり

- ・ **コンプライアンス強化**の潮流
- ・ **安全意識**の高まり



II. 第2期中期事業計画の位置付け

- 第2期中期事業計画（2024～2026）では、**当面のターゲットを2030年に置き、2030年断面における“ありたい姿”を具体化し、現状とありたい姿のギャップを解消するための各施策を推進**しているところである



III.2030年の“ありたい姿”

基本理念
「電気の安全と安心を守り続けます」

ありたい姿

「お客さまに頼りにされたい」「職員の技術力を高めたい」「社会になくてはならない存在でありたい」

Safety

お客さまと職員の MIRAI を守る安全文化の実現へ

- ✓ お客さま電気設備の**安全確保の徹底**
- ✓ 協力会社を含めた組織としての**安全管理体制の確立**
- ✓ 災害ゼロを達成するための**職員の安全意識の徹底**
- ✓ 災害ゼロを**人の技量に頼らず制度的・技術的に達成するための仕組み整備**

Sales

保安・調査業務を基盤に、
工事業・SmartH事業を拡大し、
お客さまの明るい MIRAI を創造する企業へ

- ✓ 保安・調査業務をより強固な事業基盤として成長
- ✓ お客さまの電気設備改修を軸とした**工事業**を、保安・調査業務と並ぶ**新たな柱として位置付け**
- ✓ **SmartH事業の防災、脱炭素**の事業領域において お客さまのニーズに応える**未来創造企業**

+1 Stand up NOTO

電気の復旧を通じた能登の復興支援

- ✓ 電気設備の復旧、総合防災サービスの提供等の推進により、お客さまの**災害対策強化を支援**

Satisfaction

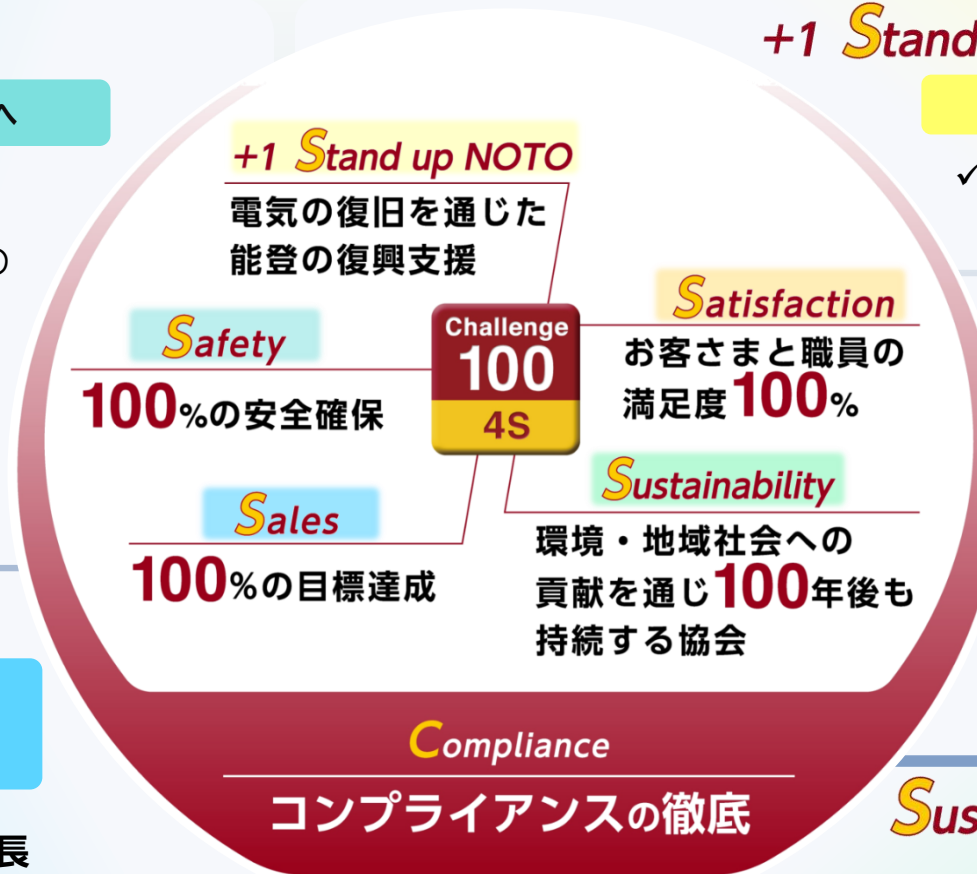
誇りを大切に一人ひとりが輝ける MIRAI へ

- ✓ お客さまへの貢献を通して、自己実現を実感し、**誇りをもって仕事に従事できる職場**
- ✓ 活発なコミュニケーションとチームワークにより、**心身ともに健康で働きやすい職場**
- ✓ 教育の充実強化による**専門能力の向上**

Sustainability

北陸のMIRAIを支える地域になくてはならない存在へ

- ✓ 省エネ、創エネの提案を通じて**お客さまの環境負荷低減に貢献するとともに、自らも環境施策を推進する環境先進企業**
- ✓ **地域の電気人財不足等の課題解決に貢献するとともに、地域の信頼を獲得し、地域に共感される企業**



- ✓ 業務全般において**コンプライアンスを徹底し、電気の安全と安心を守り続ける**

IV. 第2期中期事業計画の重点事項

➤ 第2期中期事業計画の2年目となる2025年度は、以下4点を重点事項とする

【重点事項1】『コンプライアンスの徹底』を最優先

- ・ 業務全般における『コンプライアンスの徹底』
- ・ コンプライアンス意識の徹底

【重点事項2】『災害ゼロ達成』に向けた取組みを強化

- ・ 安全意識の徹底
- ・ 安全管理体制の強化

【重点事項3】お客さま電気設備の安全・安心を重視した『ワンストップサービス』を展開

- ・ 能登半島地震により被災したお客さまの事業再開に向けた電気工事による支援
- ・ 基盤事業（保安・調査）の強化によるお客さま電気設備の安全確保および工事業への展開
- ・ お客さま満足度向上につながる取組みの推進

【重点事項4】職員が『入ってよかった』と感じられる協会を目指す

- ・ コミュニケーション活性化や待遇・評価方法の充実
- ・ 適正な要員体制の整備と業務負担軽減への取組み

V. 第2期中期事業計画の概要

※赤字は重点事項

Challenge
100
4S

1 コンプライアンスの徹底 (P.7～8)

- **業務全般における『コンプライアンスの徹底』**
 - ✓ 不適切事案の未然防止
 - ✓ 不適切事案の原因分析体制強化
- **コンプライアンス意識の徹底**
 - ✓ 職員の法令遵守意識の定着
 - ✓ コンプライアンスに関する情報共有
 - ✓ 法令・協会規則の遵守徹底



Compliance

2 能登半島地震を踏まえた取り組み (P.9)

- **震災復旧・復興への支援**
 - ✓ お客さまの事業再開に向けた電気工事による支援
- **協会内の災害対応の強化**
 - ✓ 災害時業務支援の充実
 - ✓ 制度・仕組みの強化
- **災害対応および備えのPR**



+1 Stand up NOTO

3 100%の安全確保 (P.10)

- **安全意識の徹底**
 - ✓ 職員の安全意識の徹底
 - ✓ 類似災害の未然防止
- **安全管理体制の強化**
 - ✓ 安全推進活動の強化
- **お客さま電気設備の安全確保** *One Stop*
 - ✓ お客さま電気設備の改修促進
- **電気の安全使用等のPR**



Safety

5 100%の販売目標達成 (P.14)

- **基盤事業の強化**
 - ✓ 保安業務の強化・推進
 - ✓ 調査業務の着実な実施
- **協会認知度向上に向けた事業内容のPR**
- **電気設備改修を軸とした工事業の展開** *One Stop*
 - ✓ 工事業の強化・推進 (SmartH事業を含む)



Sales

4 お客さまと職員の満足度100% (P.11～13)

- **お客さま満足度向上につながる取組みの推進** *One Stop*
 - ✓ 電気設備の安全・安心を重視したサービスの展開
 - ✓ お客さまの課題を解決するサービスの提供
 - ✓ 業務品質の維持向上
- **幅広い専門知識や技能を有した職員の人財育成**
 - ✓ 人財育成カリキュラムの充実 (ミライウムアカデミー)
- **協会認知度向上に向けた事業内容のPR**
- **コミュニケーションの活性化や待遇・評価方法の充実**
 - ✓ 職場内コミュニケーションの活性化
 - ✓ 人財育成につながる評価方法
 - ✓ ダイバーシティ人財が活躍できる体制の整備
 - ✓ 福利厚生の充実
 - ✓ 職員の心身の健康促進
- **適正な要員体制の整備と業務負担軽減への取組み**
 - ✓ 適正な業務遂行に向けた要員体制の整備
 - ✓ 業務効率化や運用改善による業務負担軽減
 - ✓ 働きやすい設備やシステムの構築



Satisfaction

6 環境・地域社会への貢献を通じ100年後も持続する協会 (P.15)

- **環境保全の推進**
 - ✓ カーボンニュートラル計画の推進
 - ✓ お客さまの環境保全の取組み支援
 - ✓ 職員の環境保全意識の向上
 - ✓ 脱炭素に係る技術開発の推進
- **地域の電気人財の育成と創出**
 - ✓ 地域の電気技術者育成 (ミライウムアカデミー)
- **地域貢献活動の推進**



Sustainability

1. “Compliance” コンプライアンスの徹底 ① ②

業務全般における『コンプライアンスの徹底』

▲ 不適切事案の未然防止

保安業務

保安業務に関する法令教育等の実施

- 電気設備の点検頻度や絶縁監視装置の設置要件等、電気関係法令に関する教育を実施

New

適切な運用を確認するチェック機能をシステム化

- チェック帳票の出力や、管理者の「サポート点検」が必要な事業場を抽出する機能等を「お客さま情報システム」に実装し、運用

New

規程類・マニュアルの見直し

- システム化に伴い、必要となる規程類・マニュアルを見直し・整備

調査業務

調査業務に関する法令教育等の実施

- 電気関係法令に関するeラーニングや、接遇教育を実施
- 所属長による同行指導を実施

New

チェック機能の改善や帳票の見直し

- 管理者が異常値をチェックできる仕組みを構築
- お客さまに調査結果を通知する「電気安全パンフレット」を改定
- 規程類・マニュアル類を見直し・整備

工事業務

工事業務に関する法令教育等の実施

- 「施工管理教育」内においてコンプライアンス教育実施
- 法令・規程類を継続的に周知

New

職員との意見交換

- 地区本部訪問時や情報連絡会を活用し、職員との意見交換や対話活動を継続的に実施のうえ、法令・ルールへの理解度をチェック

共 通

New

リスク対応検討会

- 「技術相談ほっとライン※1」や「業務に関するアンケート※2」から不適切事案に繋がりそうな事案を洗い出し、予防策を検討

※1 協会グループウェア内に技術的な悩みや課題を匿名で相談できる投稿フォーム

※2 業務に従事する全職員を対象に、業務運営や組織風土に関する疑問や意見を求めるアンケート（「コンプライアンス強化月間（9月）」に実施）

👥 不適切事案の原因分析体制強化

New

原因分析能力向上

- 管理者を対象に外部研修等を活用した教育を実施（なぜなぜ分析）

1. “Compliance” コンプライアンスの徹底 ① ②

コンプライアンス意識の徹底

職員の法令遵守意識の定着

New

「コンプライアンス強化月間」の設定

- 新たに毎年9月を「コンプライアンス強化月間」とし、法令遵守意識の定着を図る

コンプライアンス教育

- ・ 全職員を対象に法令遵守や企業倫理に関する教育を定期的実施



コンプライアンス説明会

- ・ 職員が法令やルールを正しく理解し、その重要性を再認識することを目的として、「コンプライアンス説明会」を実施

New

コンプライアンス標語の募集

- ・ 協会全体で法令遵守や倫理的な行動を徹底するため、コンプライアンスに関する標語を募集し、選考・審査のうえ、職員へ共有

コンプライアンスに関する情報共有

過去事案の共有化



- 過去事案を風化させない取り組みを実施
 - ・ 過去事案の概要・教訓を示したパネルを展示し、職員と共有
 - ・ 過去事案リストの掲示・共有方法を見直し

コンプライアンス情報の発信



- ・ 従来より実施している「コンプライアンスマガジン」の内容を強化し、全職員へ発信
- ・ 協会報を活用し、コンプライアンスに関する情報を発信

法令・協会規則の遵守状況の確認

- 考査の実施により法令・協会規則の遵守状況を確認するとともに、必要な指導・助言を行い、良好事例については各地区本部へ水平展開

一般考査



- ・ 危機管理の取り組み状況
- ・ 業務の適正、遂行状況



2. “Stand up NOTO” 能登半島地震を踏まえた取り組み

震災復旧・復興への支援

お客様の事業再開に向けた電気工事による支援

被災設備＋不具合箇所の改修促進

- 被災設備に加え、経年劣化等による不具合箇所の改修を同時に提案
- 震災復旧・復興補助金申請の書類作成等をサポート



震災の知見・教訓を踏まえた電力レジリエンス強化

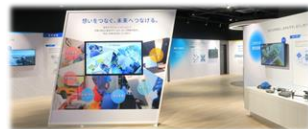
- 自然災害に強い電気設備を提案
 - 自然災害に強い協会仕様キュービクル
 - 津波対策(基礎上げ、土壌改良等) 等



災害対応および備えのPR

防災に関する実施事業のPR

- 本部ビルの活用を強化し、防災への取り組みや災害への備えの必要性等を発信



協会内の災害対応の強化

災害時業務支援の充実

事業所の災害対応強化

- 災害備蓄品の充実
- 生活水確保の強化



災害時業務支援への技術応用

- New 遠隔監視技術の導入検証（スマホ利用システム）



災害対応強化に資する車両導入

- 4WD車・PHEV導入拡大



制度・仕組みの強化

New 非常災害マニュアルの改訂

- 非常災害対策本部を設置する本部ビルの実効性の確認を含め、災害マニュアルを改訂



New 災害時点検マニュアルの制定

- 災害時のお客様対応、点検手順、点検時の留意点について、災害時点検マニュアルを制定



3. “Safety” 100%の安全確保

安全意識の徹底

職員の安全意識の徹底



安全教育等の実施

- 全職員を対象としたeラーニング
- New** 災害の当事者・関係者に対する安全教育の実施と教育効果の評価
- New** チーム単位での危険予知訓練(KYT)を支援し、実施状況を管理

類似災害の未然防止

New 災害発生原因の分析強化

- 管理者を対象とした教育の実施
- 過去災害事例の再分析

災害事例の周知

- グループウェア、サイネージ等を活用しタイムリーに発信
- 掲示する災害事例の内容を充実化



職場討議の実施

- 災害事例を題材にした職場討議を実施

安全管理体制の強化

安全推進活動の強化

安全部会運営体制の確立



- 安全部会の役割等を明確化し、各主管部と連携した運営体制を確立

New 「安全意識調査」の実施

- 「安全意識調査」を実施し、その結果から安全意識レベルを評価し、フィードバック

作業安全パトロールの実施

- 地区本部、本部主管部、品質管理・安全推進室が連携したパトロールを実施

お客さま電気設備の安全確保

お客さま電気設備の改修促進

New

改修促進の仕組みづくり

- 「お客さまポータルサイト」を活用した改修提案の促進



改修を促進する『ワンストップサービス』の提供

- 保安、工事、営業各部門が連携した『ワンストップサービス』により、改修を促進



組織として改修に取り組む風土の醸成

- グループ・チーム単位での改修促進活動の推進
- New** 活動の発表の場として「保安技術成果発表会(仮称)」を開催



電気の安全使用等のPR

電気の安全使用の周知・啓蒙活動

- 本部ビルを活用し、電気の安全な使用方法、危険な使用事例、電気設備の計画的な更新の必要性等を発信



4. “Satisfaction” お客さまと職員の満足度100% ① ② ③

お客さま満足度向上につながる取組みの推進

⚠️ 電気設備の安全・安心を重視したサービスの展開

お客さま電気設備不具合箇所の改修促進



- 保安、工事、営業各部門が連携した『ワンストップサービス』の提供
- New 「お客さまポータルサイト」を活用した改修促進

New 高圧ケーブルの予防保全対応

- 製造者が指定する予防保全対応の確実な実施
- 迅速なケーブル交換体制の整備
- 予防保全期間を過ぎたお客さまへのフォロー



👥 お客さまの課題を解決するサービスの提供

低濃度PCB機器の分析・処理推進

- 分析状況の管理強化、処理業者の斡旋推進

省エネ・脱炭素の取組み支援



- 太陽光発電システムの提案、省エネセミナー・省エネ診断の実施

「総合防災サービス」の提案



- 非常用発電機の設置・更新・メンテナンス
- 自然災害に強い協会仕様キュービクルの提案



🏹 業務品質の維持向上

各種監視装置の機能維持・管理



- 計画的な監視装置LTE化(絶縁監視装置、デマンド監視装置)
- New 監視装置警報を受信・管理する「総合監視サーバ」の更新計画を検討

スマート保安への対応

- お客さま設備更新計画の作成、運用方法の検討
- スマート保安対応保安規程、協会規程類の検討・策定
- 過負荷監視用端末の検証・選択



各種教育等による職員サポート

- 階層別教育の実施（ミライウムアカデミー）（⇒ P.13）
- OJTや意見交換会による若手職員へのフォロー
- 工事能力(技能・知識)向上研修の実施
- New 「保安技術成果発表会(仮称)」の開催



協会認知度向上に向けた事業内容のPR

📢 協会の各事業の取組みPR

- 協会各事業への認知度や協会イメージの向上に向けた効果的なPRを検討・実施
- 本部ビルの活用を強化
- 新たな広告媒体の検討 等



4. “Satisfaction” お客さまと職員の満足度100% ① ② ③

コミュニケーションの活性化や待遇・評価方法の充実

職場内コミュニケーションの活性化

気軽に相談できる仕組みの構築・強化

- ・ 職員育成面談の強化
- ・ OJTによるフォロー体制強化、メンター制度の運用



New

協会報による内部情報の共有

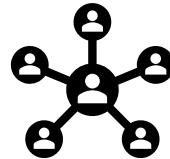
- 本部・地区本部の一体感を醸成するため、協会の活動を共有
- ・ 記事内容の強化、効果的な発信方法の検討

人財育成につながる評価方法

New

新たな人事評価方法の導入検討

- ・ 複数の上長による評価、「360度評価」の導入検討
- ・ 「役割等級基準」の具体化を検討



技能認定制度の見直し

- ・ 「保安エキスパート」、「技術マイスター」制度の関係性明確化・見直し

ダイバーシティ人財が活躍できる体制の整備

女性活躍推進

- ・ キャリア研修、役職者研修
- ・ 「女性活躍推進法」に基づく行動計画

障がい者雇用

- ・ 民間紹介会社の活用
- ・ 職員紹介の促進

福利厚生の充実

職員とその家族を大切にする環境づくり



- ・ 時代にあった福利厚生諸制度の検討
- ・ ライフイベント休暇の取得推進
- ・ 職員・家族への感謝企画の検討、家族職場見学
- ・ 経験者採用者への指導の助成



職員意識のモニタリング

- ・ 「協会活力診断」の結果を分析し、フィードバック



職員の心身の健康促進

労働環境の向上

- ・ 在宅勤務、直行直帰制度の運用改善
- ・ 仕事と育児・介護を両立できる環境づくり



衛生環境の向上

- ・ 個別保健指導、ウォーキング活動、食生活改善企画等による有所見者率の低減
- ・ 経験の浅い職員、新任役職者を対象としたメンタルヘルス研修の強化(マインドフルネス実践、瞑想訓練 等)



4. “Satisfaction” お客さまと職員の満足度100% ① ② ③

適正な要員体制の整備と業務負担軽減への取り組み

■ 適正な業務遂行に向けた要員体制の整備

採用の強化

- 新卒採用
 - ・ 就職サイトの活用、インターンシップやオープンカンパニーの実施
 - ・ 各校との連携強化、認定校以外への対応拡大 等
- 経験者採用
 - ・ 採用ツールの拡大(転職サイトの活用、HPの充実等)
 - ・ 人材紹介会社の活用、職員紹介制度の強化



人員配置の適正化

- ・ エリアごとの人員バランス改善、職員成長につながる戦略的ジョブローテーションの検討



⚙️ 業務効率化や運用改善による業務負担軽減

業務の負担軽減

- New** 役職者の負担軽減につながるチームの見直し・再編成
- ・ 管理者による検査員フォロー体制の強化
- ・ 試験業務担当エリアの見直しによる業務平準化
- ・ 土日業務の負担軽減



IoT・AI技術による業務効率化

- ・ AI活用点検システム、RFID技術の導入に向けた検証



📶 働きやすい設備やシステムの構築

建物の移転・更新

- ・ 七尾地区本部の移転
- New** 既存建屋の中長期的な更新計画を検討

各種システム・ツールの更新・管理

- New** 「お客さま情報システム」のリニューアル
- ・ 各種サーバの適切な更新、PC・各種ツールの管理・検証



幅広い専門知識や技能を有した職員の人財育成

👤 人財育成カリキュラムの充実（ミライウムアカデミー）



北陸電気保安協会

MIRAIUM ACADEMY

- 階層別に切れ目のない教育カリキュラムを構築

ビジネススキル教育

- ・ コンプライアンス徹底、評価者スキル向上を図るため、一部カリキュラムを見直し

テクニカルスキル教育

- ・ カリキュラムに「技術者倫理」項目を新たに組み込み
- New** 「なぜなぜ分析」セミナー受講者に対するフォロー研修を実施

電験三種教育

- ・ 合同勉強会、模擬試験の実施
- ・ 新入職員向け集合勉強会の実施
- ・ 地区本部勉強会、eラーニングによるサポート



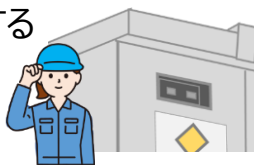
5. “Sales” 100%の目標達成

基盤事業の強化

▲ 保安業務の強化・推進

競合他社との差別化

- 技術力・機動力に加え、これまでの経験を活かした“協会の強み”を最大限に発揮し、競合他社と差別化
- ・ お客さま電気設備不具合箇所の改修をはじめとする『ワンストップサービス』を強力に展開
- ・ 新設の確実な受託、離脱防止を実践



New

提案強化



- ・ 「お客さまポータルサイト」活用による改修の促進

💡 調査業務の着実な実施

New

受託範囲の拡大

- 計器・引込線の更新・修繕工事に関する竣工調査の受託拡大

協会認知度向上に向けた事業内容のPR

🔊 協会の各事業の取組みPR

- 協会各事業への認知度や協会イメージの向上に向けた効果的なPRを検討・実施



電気設備改修を軸とした工事業の展開

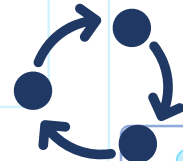
🏗️ 工事業務の強化・推進（SmartH事業を含む）

お客さま電気設備不具合箇所の改修促進

- 保安全管理業務の知見やデータを活用し、営業部門と連携した設備最適化を含む改修工事を迅速に提案する『ワンストップサービス』を展開

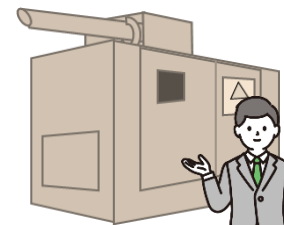


One Stop



提案型営業の着実な展開

- ・ お客さまのニーズに即した着実な提案活動を実施
- ・ 自然災害に強い協会仕様キュービクルの普及拡大
- ・ 太陽光発電システム等の提案強化
- ・ 提案先の拡大による案件創出
- ・ 展示会、セミナー、キャンペーンの効率的な実施



備える、抑える、まもる。

SmartH



6. “Sustainability” 環境・地域社会への貢献を通じ100年後も持続する協会

環境保全の推進

カーボンニュートラル計画（CN計画）の推進

CN計画の推進

- 事業運営におけるCO2削減の検証
 - ・ 事業所での省エネ実施
 - ・ 環境に配慮した車両の導入
 - ・ 事業所ZEB対応



お客さまの環境保全の取組み支援

省エネ・脱炭素支援

■ 省エネ・脱炭素に向けた各種サービスを展開



- ・ デマンド監視サービス
- ・ ソリューションサービス(EMS導入、照明LED化、空調更新)
- ・ 自家消費型太陽光発電システム
- ・ EV充電インフラ総合サポート
- ・ 省エネ診断



PCB含有機器の処理支援

- ・ PCB含有分析の推進、処理業者の斡旋
- ・ 法改正等の情報を収集し対応



職員の環境保全意識の向上

環境保全に関する教育等の取組み

- ・ 環境講演会、eラーニング、エコドライブ推進の取組みを実施



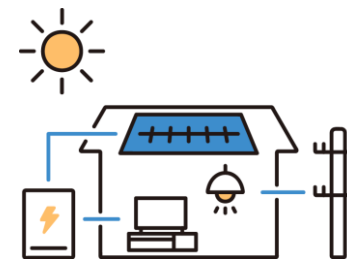
脱炭素に係る技術開発の推進

蓄電池制御システムの導入・実証

- ・ 試験運用を開始し、データ収集・検証を実施

新エネルギーに関する調査・検証

- ・ 水素利用発電機の試験利用実施



地域の電気人財の育成と創出

地域の電気技術者育成（ミライウムアカデミー）

オープンコース

- 全12コース(新規2コース)

- ・ 法定教育
- ・ 実践型研修
- ・ 資格取得支援



産学連携

- 次世代育成

- ・ 「おもしろ科学実験in富山」へ参加



地域貢献活動の推進

地域貢献活動等の実施およびPR

- 地域社会への取組み(産学連携活動、文化財点検、防災訓練等)や電気の安全で効率的な利用をPR



VI. 2024～2026年度戦略投資の概要

- 第2期中期事業計画（2024～2026年度）は、新本部ビル・ミライウムアカデミーの運開により、「人財育成改革元年」と位置付け、人財育成に資する施策に更に投資を行っていく。また、基盤事業の強化、工事業等の拡大、環境・地域社会への貢献、D X推進による業務効率化及び安全対策の強化に加え、足もとの能登半島地震を踏まえ、震災復旧・復興支援の施策にも積極的に投資する。

